

第6回・共に働くまちを拓くべんきょう会 「社会(自然)の中で働く」

――横田厚子さんの場合

(熊谷市在住)

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働きかたや暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。一回、一回、レポーターをお願いし、それを口火としておしゃべりしますので、初めの方でもどうぞおいで下さい。

今回は、県営住宅で一人暮らしをしながらダイエーで働いている障害者・横田さんの体験を話していただき、おしゃべりたいと思います。今回もさまざまな立場の方の参加を期待します。お時間のある方は、終了後ファミレスでもうちよつと交流(ミニヒュー)。



職場参加を考える会では、12月9日の障害者の日に春日部と草加のハローワークを訪れ、所長や担当の方と話し合いをもちました。(写真は草加のハローワークで話し合いを終えて一緒に記念

1月27日(木) 午後6時半～9時
越谷市中央市民会館5F 会費200円
主催・障害者の職場参加を考える会 048(733)2743
デイケア・パタパタ内(一ノ瀬)



会費200円

連絡先
障害者の職場参加を
考える会

Tel&Fax048-733-2743
(デイケア・パタパタ
ーノ瀬)

「社会（自然）の中で働く」
——横田厚子さんの場合

越谷市中央市民会館 五階

ともに働くまちを拓くべんきょう会
第6回 1月27日（木）午後6時半～9時

「私は秩父の生まれで、現在熊谷に住んでいる28才の横田厚子です。五人兄弟の末っ子で生まれた私は、体に障害があり、両親はどんなに心配だったろうかと思う。昔は親の気持が何もわからず、ずいぶん恨んでしまった。まわりとちがって普通じゃない自分がイヤで何度も死のうと思った。

でも、今は一人の人間として生きていてよかったと思う。今、市内の県営団地で一人暮らしをしている。9時から1時まで熊谷のダイエーで働き、夜は定時制の高校に通っている。私がお世話になっているダイエー（熊谷店）では、車椅子でも利用できる環境を作ってくださり、社員の人たちの協力で私は仕事が出来ている。私も自分の出来る範囲内がんばろうと思っている。私は仕事をする時、幸せな気持です。こう思える気持は障害者であるから思えることで、その他にもたくさん幸せを感じることもある。（中略）

空、海、川、森、大地や色々な場所で生命がある。人間も同じように色々な障害のある人、形がちがうだけで、健常者一障害者も生命は同じものだと思う。私が障害者であるということは、周りの人たちに生命は同じだと知ってもらうためかもしれない。知ってもらうこと、これは私にとって運命、そして使命なのかもしれないと思う。その運命があるから、障害者の人間としてできることを、私は社会（自然）の中で色々やっていけたらと思う。

（後略）」